



発行：NPO 法人シャローム事務局

〒960-1241 福島県福島市松川町字東原 17-3
TEL / FAX 024-567-5322

Web <http://www.nposhalom.net>
E-mail info@nposhalom.net

発行責任者：大竹静子

2015 年 ひまわりプロジェクト

栽培 Q&A 今年度の交流事業 現在の進捗報告

今期の募集の開始からおよそ三ヶ月が経つひまわりプロジェクト。ひまわりプロジェクト二〇一五への協力者件数が約二五〇件となり、遂に昨年度の総件数二三八件を上回った。送付済みの種は約三五キログラム(約五八万三千粒)。これは昨年発送した種の総重量と同量である。

現在もお栽培協力の申込みや種の発注の連絡があり、更にひまわりの輪が広がっていきではないかと予想される。前年度以前の協力者からの紹介がほとんどであるが、シャロームのホームページを見つけて参加を決めたという協力者も少なくない。今後はホームページやひまわりプロジェクトの充実を図っていく予定である。

協力者の多くは、ゴールデンウィークに種を蒔いたようで、その報告が神奈川県の人協力者から寄せられた。五月五日に種蒔きの様子、五月十六日には発芽の様子の写真が届いた。発芽は種まきから十日ほど。毎年のごとくだが、植物の成長の早さには驚かされる。

この他にも、福岡県の協力団体で独自に配布している「ひまわり栽培の留意点」が

寄せられた。こちらを参考に、めまぐるしい成長を遂げるひまわりの栽培に関する Q&A を紹介していきたい。

ひまわり栽培の Q&A



Q1. 葉が枯れてきた

A1. ひまわりは、成育期間中に『水切れ』や『肥切れ』すると、下葉から枯れ上がってくるので、生育期間中は乾燥させないように『敷きワラ』をして乾燥を防いだり(生育期間中は水切れ厳禁、『追肥』を施して『肥切れ』させないように育てましょう。

Q2. 『肥切れ』のサインは？

A2. 『肥切れ』しているかどうかは葉が小さく元気がない、色も薄い黄緑色の場合に生じています。早期発見し、追肥をしましょう。

Q3. 『水切れ』のサインは？

A3. 『水切れ』は葉がしおれて枯れたようになります。この場合は面倒でも必ず水やりをしてください。水やりはひまわり全体にかけるようにして、ハダニなど害虫を落とす

ようにしましょう。

この「ひまわり栽培の留意点」を作成・配布した「グリーンコープ連合」は、大多数の協力団体・個人協力者を取りまとめている。

今年の夏は、この「グリーンコープ連合」、またグリーンコープの紹介でプロジェクトに参加をした「熊本県阿蘇郡小国町」、更には昨年に引き続き「岡山県笠岡市」を「子どもひまわり大使」が訪問・交流を行う予定である。

七月三十一日〜八月六日までの六泊七日で、笠岡市に三泊その後九州へ移動し、福岡県・熊本県へ三泊する行程である。笠岡市では、福島の子どもたちと笠岡の子どもたちだけでなく、福島から笠岡へ避難した子ども達も交えた交流を計画している。

また、九州ではグリーンコープの施設を見学したり、阿蘇の自然の中で遊んだり、多くの社会体験・自然体験ができるのではないかと予想される。子どもたちの募集など、「子どもひまわり大使」の派遣に向けて今後も準備を行っていく。

これらの団体以外にも、神奈川県鎌倉市の協力者ら、愛知県北設楽郡東栄町の協力者らとの交流も予定している。ひまわりで繋がった福島と全国各地との輪を広げ、より強固なものとしていけるような交流としていきたい。

ひまわりプロジェクト担当・川島



暑々々メモ帳

連日の猛暑が続く。カレンダーはまだ五月。日数もまだだいぶ残っている。桜前線の話が日本列島を駆け抜けたと思っている間もなく、すでに台風が。夏日、真夏日、春をそこそこに、そんなに急いでどこへ行く。夏になったら雪が降る？

自然の営みに身を委ねながら生きていく。植物、動物すべてが、この自然から逃れることはできない。大地震、津波、噴火、自然は時として牙をむき、そこに生きるものの生命を奪い去る。

気候変動の異常は、大地震のような劇的な災害とはならないが、冷夏や干ばつ等々一年間を掛けた大きな災害をもたらす。地球の各地で災害が続く、災害に地球の国境はない。

天変地異が多い時代は、社会が不安定になり、混乱期を迎えるというのは歴史の必然のようである。

生活の基本となる食料供給を担う農業生産が、天変地異により大きな打撃を受けると、少ない食料の争奪戦が始まる。富の格差、力の格差は拡大し、貧困を拡大する。命を掛けたサバイバルゲームの中に巻き込まれていく。真夏のような暑さの中で悪夢のような現実が頭をよぎる。

(T・O)